



モニターはバイザー、ヘッドレスト&ミラーと計8枚。ツイーター部やエアコン吹出口、メーターパネル下はグラフィック塗装により豪華さアップ。



ホイールはランクル200と同じDOUBLE EIGHT「STYLE」だが、ボディ同色のホワイトで塗り分けすることでさらに高級感が出ている。ルーフレールやサイドステップに白色LEDを埋め込むことでナイトシーンでも存在感を示す。極め付きはリアバンパーを加工して隠すように埋め込んだLEDウインカーだ。点灯時に目立つので安全性も高い。マフラーはワンオフステンサイド4本出しだ。

DIG  
THE  
WHEEL



**DTW004**  
DOUBLE EIGHT 22"  
feat. TOYOTA  
LANDCRUISER CYGNUS

### 斬新アイテムでシンプルさと近未来をミックス

ランクル200の発売と同時に立ち上げられた、ホイール&エアロメーカーが「DOUBLE EIGHT」だ。ランクル200のパーツを始め、今後はシグナスやランクル100、プラドと展開予定である。そのDOUBLE EIGHTのデモカー・ランクル200には、早速新作エアロ&マフラーが装着されていた。エアロは純正ラインを崩さないことにこだわり、特にフェンダーサイドのプレスラインから繋がる前後エアロラインの滑らかさは秀逸だ。価格はFハーフが7万6650円、Rハーフが6万8250円(セットで13万2300

円)。色付き設定を選ぶこともでき、1トーンは1万5750円、2トーンは2万1000円、ホワイトパールは別途3150円となる。そしてワイルドなデザインのステンレスマフラーは18万9000円だ。

GMGのデモカー・シグナスも同様だが、全体的なコンセプトはシンプル路線となる。両車ともにスピナーを想像させる造形のホイール「STYLE」(10万9200円/1本)の22インチが組み合わされる。メインとサブのスポークはそれぞれ逆方向に組まれ、立体感を表現。多面構造により走行時にはさらに輝き





# DTW005

## DOUBLE EIGHT 22"

feat. TOYOTA LANDCRUISER 200

Photograph by Kazuhisa Masuda  
Text by Kazuhiro Uesugi  
Owner Takahiro Koyama(Landcruiser 200)  
Source Call--052-652-1234(GMG)  
www.gmg88.com  
Special thanx to Double Eight(052-651-5151)



が増幅され、斬新かつオシャレなシルエットを実現する。シグナスはシンプルな中にもさり気ない近未来志向が特徴だ。特にボディ奥にインストールされたLEDウインカーは点灯すると浮き上がって見え、ほのかな優越感に浸れるほど。ルーフやサイドのLEDは、敢えて光力が強く寿命が長い外装看板用を使うコダワリ具合だ。



ホイールはDOUBLE EIGHT[STYLE]の22インチ。フロントグリルはボディ同色とされ、Fハーブポは純正フォグを生かすためのデザインで、装着するだけでヘッドライトと同形状となる。モニター類はヘッドレスト×4枚とシンプルな構成。マフラーは4本出しながらスペアタイヤはそのまま搭載可。マフラーは軽く外向きにして少々ワイルドさを出す。少々マフラー出口に段差を付けることでリアから見た時により美しいラインを出している。片側2本出しオールステンマフラーは中間から変わっている。





SHOW GOES ON!!

名古屋オートトレンド2008

# NAGOYA AUTO TREND 2008

EXHIBITION NOTE\_Page:01-05

Date:March Fri\_07~  
Sun\_09 2008  
Location:PORT MESSE  
NAGOYA

Photograph by Kazuhisa Masuda  
Text by Kaz Uesugi  
Source Call→052-249-9089(名古屋オートトレンド事務局)  
www.n-autotrend.com

## 思い思いの仕様に仕上げられる懐の深さ LUXURY部門の未来は明るく面白い

3月7日~9日にかけて、ポートメッセなごやで開催された名古屋オートトレンド2008。会場となった1~3号館には個性的なチューニングカーやドレスアップカー、派手なオーディオ仕様にスーパーカーとギッシリと並んでいた。もちろん国内外を問わず、ラグジュアリー系として仕上げられた車両も数多い。『今年のトレンドが勢揃い』というキャッチコピーに間違いはなかった。とはいえ決して

ラグジュアリー仕様として、今後の傾向が見えてくるわけではない。というのもこれまでも増して様々な方向性にドレスアップのベクトルが向いていたからだ。純正らしさを残すことにこだわった仕様、より豪華さや優雅さを求めた仕様、あるいはモニター類や光りモノで夢のような空間を目指した仕様など様々な方向性があるのももちろんだが、それぞれがより進化しているのだ。目標

タイムや最高出力など、より具体的な数値で目指せるサーキット仕様などとは違い、ラグジュアリーの分野は目指すものが希薄になってしまいがちだ。だが、逆に言えばなんでもWELCOMEな世界だからこそラグジュアリーの世界は面白い。縛りが少ないからこそ思い思いの高級感、個性を出して仕上げられるのだ。改めてユーザー側としての楽しさが実感できた。



## DOMESTIC >>

セダンありSUVあり、そしてピックアップトラックありと様々なジャンルの国産車ブース  
身近な存在なだけに愛車にも取り入れたいポイントが数多し!!



GMGのランクル200には26インチのVellano VSEを合わせていた。ちなみにサイズは10.0Jの+45だ。エアロはDOUBLE EIGHTで、フェンダーラインに美しく繋がっていく造形にコダワリが見える。前後バンパー下部は色替えすることも前提に製作。



こちらのシグナスもGMGが出展した車両だ。ボディ色を絡めたペイントが個性的な前後22インチホイールはDOUBLE EIGHT「STYLE」で、サイズは9.5J、+50だ。全体的には純正らしさを残しつつ近未来的に仕上げられた点にも好感が持てる。



シーサイドのブースではUSトヨタのタンドラが展示されていた。今年1月に発売されたホイール、MKW/MK150の20インチを装着。サイズは9.0J、+50だ。オーバーフェンダーのサポートを受けずともその姿は華々しい。またリムフランジからスポークが伸びる形状により20インチほど大きく見えるのも特徴。



M's SPEEDが製作したLEXUS IS250にはプルシャンプルールの各エアロ、トランスポヤフロントグリルなどを装着。スポーツ志向を強調するため、FSR各エアロにはメッシュダクトも設けている。20インチホイールはJJ DERK ENERGYだ。



コンセプトは「ザウバー復活」。その通り、マルカサービスのブースに展示されていたLS460には懐かしのホイールが付いていた。鍛造溶接2ピースの高級路線で、30~40代がメインターゲット。サイズは19インチと20インチが先行発売され、カラーはシルバーとメッキが用意されている。



WALDとAPPROVE、そしてオートとのコラボで出展されていたGS350。トランクルーフスポイラーを含むフルエアロが組まれ、車高調やマフラーも装着。ホイールはマホラの20インチ。コンプリートカーとしての販売も可能な一台だ。





DOUBLE  
EIGHT  
DOUBLE

2008  
DEBUT

- ◎ WHEEL : STYLE [スタイル]  
22inch×9.5J +50 (CHROME)      ¥104,000 (税込 ¥109,200)

---

- ◎ FRONT HALF SPOILER      ¥73,000 (税込 ¥76,650)
- ◎ REAR HALF SPOILER      ¥65,000 (税込 ¥68,250)
- ◎ F/R SET PRICE      ¥126,000 (税込 ¥132,300)

---

- ◎ MUFFLER      ¥180,000 (税込 ¥189,000)

---

- ◎ REAR WING SPOILER      coming soon...



So stylish  
So cool

Welcome to a new beginning... One with an impressive style and image realizing your demands for quality you envision for your car life. DOUBLE EIGHT presents the new standard in luxury style, there is stylish & cool quality luxury parts. DOUBLE EIGHT sets forward a new dimension in the luxury industry. We produce your luxury and lifestyle.